

ブラジルレアルについて

<ブラジルレアルは年明け以降堅調に推移>

年明け以降、米国の経済指標が改善の兆しを見せ、欧州債務問題について協議が重ねられる中、市場は徐々にリスク選好の動きを強めています。

外国為替市場では高金利通貨や新興国通貨が軒並み上昇しており、ブラジルレアルも堅調に推移しています。2月15日海外終値では対米ドルで1米ドル=1.73レアル、対円で1レアル=45.38円程度で、それぞれ昨年末比で7.4%、10.1%のレアル高となっています。

<為替プレミアム：概ね8~10%程度>

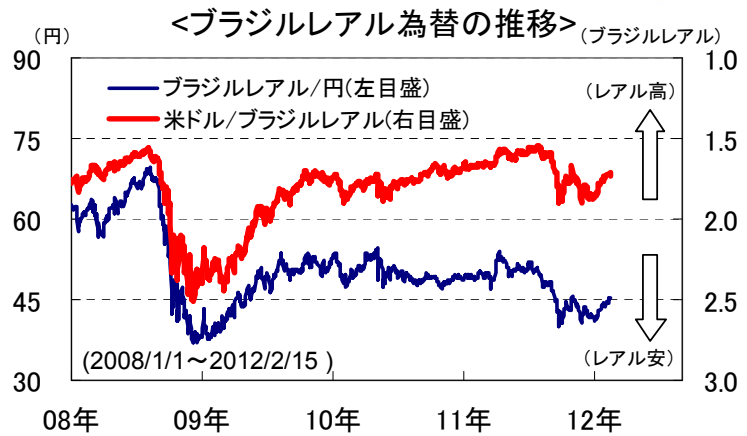
NDF(ノン・デリバブル・フォワード)から逆算されるブラジルレアル(対米ドル)の、いわゆる為替プレミアムは、一時不安定な動きも見られましたが、概ね8~10%程度で推移しています。

<中銀は利下げを模索、レアルは堅調な見通し>

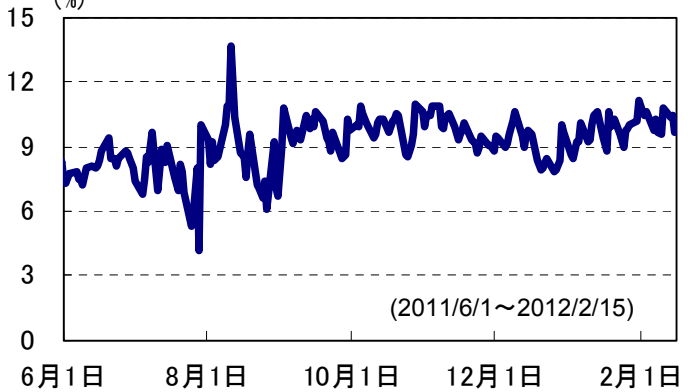
2月10日に発表された2012年1月の物価上昇(インフレ)率は前年比6.22%と政策目標上限を下回る数値となりました。

ブラジル中央銀行は前回1月の金融政策決定会合で10.5%への利下げを決定しましたが、その議事録では政策金利を1桁台まで下げる可能性が高いことが示唆されています。同中銀は欧州債務問題に対する懸念が残る中、やや減速気味の国内経済を支えるため、今後も追加利下げを模索していくと見られます。

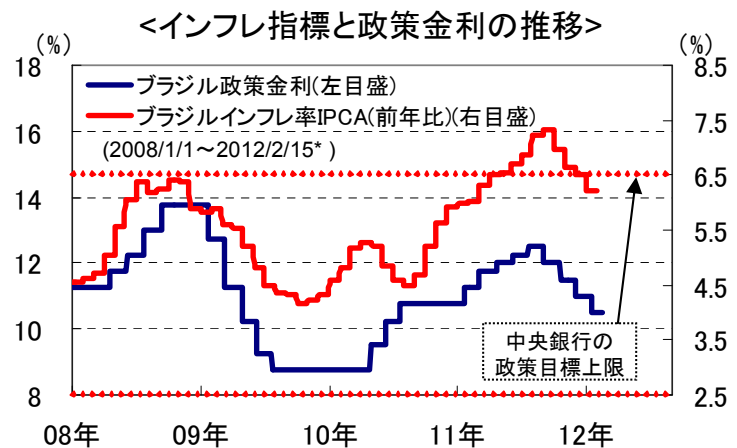
追加利下げの可能性があるとはいえ相対的に金利が高く、資源国通貨であるレアルには海外からの資金流入が期待され、基調としてはレアルは堅調に動くと思われます。



<ブラジルレアル対米ドル為替プレミアム*の推移>



* NDF1ヶ月物レートから逆算したものと



* インフレ率IPCA(前年比)は2008年1月~2012年1月

出所: Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
 ■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
 加入協会 社団法人投資信託協会、
 社団法人日本証券投資顧問業協会